

令和3年度 事業報告

1 事業の概要

令和3年度の事業については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が出ており、コロナ前の水準には戻りきれないものの、基本方針等に沿って関係各位のご支援とご協力のもと、シルバー事業の適正な運営に努めてまいりました。

派遣事業においては、今年度も連続して増加しましたが、請負の事業実績は令和元年度の水準に及ばず、請負と派遣の合計では金額、延人員ともに、前年度よりは若干回復したものの令和元年度の数値を下回ってしまいました。

さらに会員数の拡大については、令和2年度に落ち込んだ人数より3人増加したものの、ここでも同様に令和元年度の人数には及ばず、新たな業務の問合せがあっても受注できないことがあるなど、依然として厳しい状況が続いています。

当シルバー事業に深いご理解とともに、ご支援ご協力をいただきました苫小牧市をはじめ、賛助会員、関係機関、事業所、一般家庭の皆様にご心から感謝を申し上げます。

○ 事業実績

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	対前年比
1 登録会員数	687 人	684 人	3 人	100.4 %
2 受注額・就業延人員				
(1) 請 負				
① 受注金額	225,756 千円	218,451 千円	7,305 千円	103.3 %
② 就業延人員	51,105 人日	48,329 人日	2,776 人日	105.7 %
(2) 派 遣 (参考)				
① 受注金額	55,048 千円	50,586 千円	4,462 千円	108.8 %
② 就業延人員	8,180 人日	7,748 人日	432 人日	105.6 %
(3) 請負・派遣合計(参考)				
① 受注金額	280,804 千円	269,037 千円	11,767 千円	104.4 %
② 就業延人員	59,285 人日	56,077 人日	3,208 人日	105.7 %
3 就 業 率				
(1) 請 負	80.1 %	79.2 %	0.9	—
(2) 請負・派遣合計(参考)	86.0 %	86.0 %	0.0	—

※ 派遣事業は公益社団法人北海道シルバー人材センター連合会の事業です。

2 事業の実施内容

(1) 会員数の拡大

- ① 苫小牧市の「広報とまこまい」などを活用した広報活動や、会員募集ポスターの公共施設への掲示、市内各戸へのチラシ配布など、市民に積極的に情報を提供し、新規会員獲得のPRに努めました。
- ② シルバー事業のPRや会員拡大につながるよう、シルバーの活動や入会手続きなどについて適宜必要な情報をホームページ上で提供しました。
- ③ 確定申告期間中の労働福祉センターにおいて、役員・会員によるパンフレットの配布はコロナの影響により中止し、職業安定所や年金事務所と同じくパンフレットを置き、入会促進と受注拡大に努めました。

- ④ 女性限定のセミナーを伴う入会説明会については、コロナの影響により中止としました。
- ⑤ 就業会員確保、あるいは未就業会員削減のため、一般市民や未就業会員などを対象とした研修を行いました。

講習会名	期日	参加人数	講師	実施場所
刈払機取扱安全衛生教育講習会	3月25日(金)	会員 5人 一般市民 1人	コベルコ教習所(株) 北海道教習センター 主任講師 大和田 誠氏	労働福祉センター

- ⑥ 入会説明会については場所を市内の西部地区や東部地区の住宅地での開催や、平日以外での開催をするなど、多くの人に参加しやすいように努めました。
- ⑦ 企業の退職者(予定者)層への入会の働きかけについては、下記セミナーの案内チラシ72,000部全戸配布しました。

講習会名	期日	参加人数	講師	実施場所
退職予定者層のシニアライフセミナー	3月5日(土)	6人	社会保険労務士 田原 咲世氏	高齢者福祉センター

- ⑧ 職業安定所の協力を得ながら、出張相談を実施しました。
- ⑨ 入会后1年未満の会員の退会を防止するため、講習会受講やサークル入会を奨励し、就業相談を実施するなど、会員数を確保するよう努めました。
- ⑩ 高齢会員の体力に合わせ就業時間が短く、グループで出来る就業先として指定管理施設での除草等を実施し、退会抑制に努めました。

(2) 適正就業の推進と就業機会の確保

ア 適正就業の推進

- ① 就業形態については、法令遵守に努めるとともに、ガイドラインを活用し適正就業に努めました。
- ② 就業機会の均等化を図るため、長期就業などを改善するとともに、未就業会員に対しては、簡易な業務の情報を提供するなどして就業率の向上を目指すとともに、事務所内に就業情報を掲示し、会員の希望する就業の促進に努めました。

イ 受注の確保と独自事業の推進

- ① 苫小牧市に対してはシルバー事業の理念、概要を説明し、高齢者に適した就業機会の拡大とともに、事業全般に対する支援を引き続き要請しました。
- ② 就業開拓員を配置し、受注の拡大を図りました。
- ③ 女性会員の就業の拡大を図るための研修会などについては、コロナの影響により中止としました。
- ④ 高齢者派遣事業については、道シ連と連携するとともに、就業機会の拡大につながるよう、取引先との連絡を密にし、業務拡大に努めました。
- ⑤ 職業紹介については推進しました。
- ⑥ 「樽前平成ファーム」を有意義に活用して事業の充実を図りました。また、新たな独自事業について研究を行いました。

ウ 指定管理事業の充実

- ① 指定管理者となっている高齢者福祉センター、労働福祉センター、錦大沼公園、拓勇・日の出公園については、苫小牧市との協定を遵守して適正な管理運営を行うとともに、利用者サービス向上に努めました。
- ② 錦大沼ちびっこワカサギ釣りチャレンジ、高齢者福祉センター健康促進事業については、コロナ感染防止に留意しながら開催しましたが、その他はほとんどが中止となり、可能な

範囲で創意工夫をこらした自主事業の実施で、利用者の増加と満足度の向上に努めました。

(3) 安全就業の徹底

- ① 安全・適正就業委員会が主体となって、全国安全就業強化月間に開催を予定していた「健康フェスティバル」は、コロナの影響により中止しましたが、その代わりに会員の相談日に合わせ健康測定を5月、7月、1月に実施しました。
- ② 安全・適正就業委員会を4回開催するとともに、就業現場の安全パトロールを実施し、「安全ニュース」の発行や「安全標語」の募集を行い、会員の安全意識の高揚を図るとともに、安全作業の定着に努めました。
- ③ 会員が良好な体調を維持することが事故防止にもつながることから、定期的に健康診断を受けることを奨励しました。しかしながら「健康教室」につきましては、コロナの影響によって中止としました。
- ④ 健康・安全カードを全会員に配布し、携帯するよう推進しました。
- ⑤ 剪定、機械除草業務における安全就業実施度自己チェックを行うとともに、健康診断書の提出を義務付けし、会員の健康状態の把握を行い、就業中の事故防止に努めました。
- ⑥ 高齢者の自動車運転による交通事故が社会的関心を集めていることから、自動車運転業務に従事する会員を対象として「自動車安全運転講習会」を次のとおり実施しました。

教室名	期日	講師	実施場所	参加人数
自動車安全運転講習会	1月27日(木)	(株)苦小牧中野自動車学校 麓 公貴氏 他	(株)苦小牧中野 自動車学校	8人

- ⑦ 事故を起こしたグループを対象に危険予知訓練を実施し、安全意識を高め、事故防止に努めました。
- ⑧ 事故を起こした会員に対するペナルティ制度の導入を令和4年度より実施することを決定しました。
- ⑨ 連合会で実施する派遣事業に従事する会員の安全・衛生を確保するため、衛生委員会を4回開催しました。

(4) 組織体制の強化

- ① 事業の執行機関である理事会をはじめ、部会（総務部会、事業部会）や委員会（安全・適正就業委員会、広報委員会）を開催し、事業の適正な執行と活性化に努めました。
- ② シルバー事業の活性化を図るための役職員研修はコロナの影響により中止しました。
- ③ 地区長会議を2回開催し、事業に関する情報提供や意見交換、運営に対する要望や提案を話し合い、会員の自主的活動と交流を促進し参画意識や主体性の高揚に努めましたが、地区会議については、コロナの影響により中止しました。
- ④ 地域班の見直しを行いました。
- ⑤ ポイント制度の推進に努めました。
- ⑥ 「女性会」における講習会の開催、普及啓蒙活動やボランティア活動については、コロナの影響により中止しました。
- ⑦ 事務局が入居している労働福祉センターは、市の公共施設の統廃合対象となっていることから、活動拠点としての事務局の確保について、引き続き苦小牧市と協議を行いました。
- ⑧ 苦小牧市、公共職業安定所、道シ連、道内の各センターなど関係機関や諸団体と十分に連携し、事業の円滑な推進に努めました。

(5) 財政基盤の強化

- ① 国の補助制度の動向を注視し、補助金の確保に努めました。
- ② 長期的な視点に立って、事業に必要な事務機器などの資産や備品の更新・充実など必要

な整備を進めるとともに、効率化を図り経費の削減に努めました。

- ③ 会員の就業に見合った適正な収入と安定した事務費収入の確保を図るための配分金の改定については、最低賃金の動向を的確に把握し令和4年度より改定することを決定しました。

(6) 会員の研修と会員相互の交流の推進

- ① 会員の知識、技能、技術の向上を図り、就業職種と就業分野の拡大のため、センター主催の講習会を次のとおり実施しました。

区分	講習会名	期日	参加人数	講師	実施場所
技能系	ハスカップ染め講習会	11月5日(金)	11人	北海道総合研究機構 職員3名	労働福祉センター
	除草就業体験講習	7月6日(火)	10人	除草作業従事会員	錦大沼公園
		7月13日(火)	5人		拓勇公園
		7月14日(水)	5人		日の出公園
		8月27日(金)	3人		錦大沼公園
		10月6日(水)	4人		錦大沼公園
		10月12日(火)	2人		拓勇公園
		10月13日(水)	3人		日の出公園

- ② 入会后3年を経過した会員を対象に、シルバー事業に対する認識を深めていただくため、理念や仕組みを詳細に説明する「3年度経過後講習会」は、コロナの影響により形態を書面形式に変え、対象会員70人に資料を配布しました。
- ③ 事業の円滑な運営に資するため、会員の現状と意向を把握する「会員継続調査」を実施しました。
- ④ 「休憩室の開放」は理事が中心となり取り組むとともに、就業上の意見や相談を受けるための「会員の相談日」についても利用を促進するよう努め、延べ108人の会員が利用し、多数の会員から意見・相談を受ける等、会員相互の意思疎通の向上に努めました。しかしながら、6月と9月はコロナの影響により中止となり、例年1月の相談日に併せて行っていた「安全祈願餅つき大会」も中止しました。
- ⑤ 会報「とまこまいシルバーだより」第71号・第72号を発行し、事業の周知や情報伝達に努めました。
- ⑥ 会員が自主的に運営する会員の親睦交流行事（旅行・新年会）は、コロナの影響により中止しましたが、趣味・教養等のサークル活動は感染防止に留意しながら支援しました。

(7) 広報、ボランティアの推進

- ① 市の広報紙や地方紙等に広告を掲載するとともに、事業実施の際は報道記事を活用して事業の宣伝・周知に努めました。
- ② 会員の技能発表の場として、また地域との結びつきを強め、シルバー事業の普及啓発を目的とした「シルバーまつり」については、コロナの影響により中止しました。
- ③ 地域貢献活動については、センターを支えてくれる地域への感謝を込めて、港町の港公園周辺清掃を37人の参加により実施しました。

3 事業実績状況

(1) 会員登録状況

① 異動会員数

(単位:人)

区分	令和3年3月末 会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	令和4年3月末 会員数
男性	456	60	66	450
女性	228	36	27	237
合計	684	96	93	687
前年度	697	89	102	684
対前年増減	△ 13	7	△ 9	3

② 年齢別会員数

(単位:人)

区分	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	平均年齢
男性	0	21	90	154	130	55	73.8歳
女性	0	18	66	99	39	15	71.9歳
合計	0	39	156	253	169	70	73.1歳
前年度	0	44	161	261	167	51	72.8歳
対前年増減	0	△ 5	△ 5	△ 8	2	19	0.3歳

③ 職群別会員数

(単位:人)

区分	技術群	技能群	事務 整理群	管理群	折衝 外交群	一般 作業群	サービス 群	その他	合計
男性	31	26	63	147	30	152	1	0	450
女性	7	3	32	6	28	97	64	0	237
合計	38	29	95	153	58	249	65	0	687
前年度	38	31	98	147	53	249	68	0	684
対前年増減	0	△ 2	△ 3	6	5	0	△ 3	0	3

(2) 請負事業実績

① 就業実人員、就業率

(単位:人)

区分	会員数	就業者数	未就業者数	就業率
男性	450	351	99	78.0%
女性	237	199	38	84.0%
合計	687	550	137	80.1%
前年度	684	542	142	79.2%
対前年増減	3	8	△ 5	0.9

② 事業別実績内訳

区 分	受注 件数 (件)	延人員 (人日)	受 注 金 額 (円)						
			配分金	材料費等	事務費	合 計	構成比	前年合計	前年比
公共事業	255	13,439	58,653,437	893,486	7,411,011	66,957,934	29.7%	70,269,382	95.3%
民間事業	1,647	29,334	116,358,419	587,185	8,946,873	125,892,477	55.7%	117,061,445	107.5%
一般家庭	3,008	7,741	27,641,904	1,032,556	2,712,243	31,386,703	13.9%	29,847,213	105.2%
独自事業	11	591	918,524	563,337	36,680	1,518,541	0.7%	1,272,795	119.3%
合 計	4,921	51,105	203,572,284	3,076,564	19,106,807	225,755,655	100.0%	218,450,835	103.3%
前 年 度	4,840	48,329	195,396,671	3,648,784	19,405,380	218,450,835			
対前年増減	81	2,776	8,175,613	△ 572,220	△ 298,573	7,304,820			

③ 職群別就業実績内訳

区 分	受注 件数 (件)	延人員 (人日)	受 注 金 額 (円)					
			配分金	材料費等	事務費	合 計	前年合計	前年比
技 術 群	44	422	1,178,287	0	59,411	1,237,698	1,269,722	97.5%
技 能 群	857	1,858	10,342,963	693,550	1,164,526	12,201,039	15,137,778	80.6%
事務整理群	237	3,306	9,776,161	19,222	819,453	10,614,836	10,584,089	100.3%
管 理 群	334	13,711	76,908,631	178,355	6,260,066	83,347,052	81,320,454	102.5%
折衝外交群	45	6,611	15,447,866	60,198	2,341,031	17,849,095	17,460,333	102.2%
一般作業群	3,030	23,377	84,783,230	2,121,385	8,101,816	95,006,431	86,689,249	109.6%
サービス群	374	1,820	5,135,146	3,854	360,504	5,499,504	5,989,210	91.8%
合 計	4,921	51,105	203,572,284	3,076,564	19,106,807	225,755,655	218,450,835	103.3%

④ 月別事業実績

区 分	会員数 (人)	就 業		就業率 (%)	受注 件数 (件)	受 注 金 額 (円)			
		実人員 (人)	延人員 (人日)			配分金	材料費等	事務費	合 計
4 月	619	389	3,830	62.8	327	13,810,543	375,254	1,210,547	15,396,344
5 月	619	414	4,027	66.9	338	16,345,554	152,821	1,533,366	18,031,741
6 月	620	414	4,802	66.8	560	21,222,995	444,548	2,053,725	23,721,268
7 月	633	449	5,246	70.9	625	23,002,684	713,262	2,754,368	26,470,314
8 月	637	419	4,859	65.8	522	20,999,900	461,313	2,251,705	23,712,918
9 月	637	422	4,620	66.2	532	19,878,408	352,162	2,002,266	22,232,836
10 月	646	431	4,571	66.7	395	19,877,594	175,625	1,611,449	21,664,668
11 月	651	394	3,856	60.5	378	14,652,038	114,137	1,239,089	16,005,264
12 月	656	380	3,584	57.9	289	12,647,849	82,172	1,060,789	13,790,810
1 月	662	392	3,996	59.2	350	13,734,400	75,076	1,135,834	14,945,310
2 月	661	394	3,834	59.6	301	12,850,059	44,313	1,005,230	13,899,602
3 月	687	383	3,880	55.7	304	14,550,260	85,881	1,248,439	15,884,580
合 計	687	550	51,105	注 80.1	4,921	203,572,284	3,076,564	19,106,807	225,755,655
前年合計	684	542	48,329	注 79.2	4,840	195,396,671	3,648,784	19,405,380	218,450,835
前年比	100.4%	101.5%	105.7%		101.7%	104.2%	84.3%	98.5%	103.3%

※注 就業率の合計欄は、毎月分の合計額ではなく、1年間を通しての就業率です。

(3) 派遣事業実績(北海道シルバー人材センター連合会事業)

区 分	受注件数(件)	実人員(人)	延人員(人日)	受注金額(円)
令和3年度	302	75	8,180	55,048,053
令和2年度	303	77	7,748	50,586,390
対前年増減	△ 1	△ 2	432	4,461,663
前 年 比	99.7%	97.4%	105.6%	108.8%
職 種	草刈り、夜間管理、店舗整理等			

(4) 請負・派遣合計事業実績(参考)

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減	前年比
請 負	受注金額	225,755,655円	218,450,835円	7,304,820円	103.3%
	就業延人員	51,105人日	48,329人日	2,776人日	105.7%
	就 業 率	80.1%	79.2%	0.9	
派 遣	受注金額	55,048,053円	50,586,390円	4,461,663円	108.8%
	就業延人員	8,180人日	7,748人日	432人日	105.6%
請負・派遣 合 計	受注金額	280,803,708円	269,037,225円	11,766,483円	104.4%
	就業延人員	59,285人日	56,077人日	3,208人日	105.7%
	就 業 率	86.0%	86.0%	0.0	

(5) 指定管理受託施設利用状況

(単位:人)

施 設 名	令和3年度利用者数	令和2年度利用者数	増 減	前年比
労働福祉センター	20,416	15,575	4,841	131.1%
錦大沼公園	54,492	70,774	△ 16,282	77.0%
拓勇・日の出公園	82,180	83,375	△ 1,195	98.6%
高齢者福祉センター	11,734	14,190	△ 2,456	82.7%

4 事故発生状況

(1) 傷害事故発生状況

件数	発生日時	性別	年齢	事故の状況及び結果
1	令和3年 5月29日 (15時00分頃)	男	73歳	広報配布作業中、雨で濡れた配布先の階段で滑り、膝をひねったもの(右膝関節内側半月板損傷)
2	令和3年 7月20日 (11時30分頃)	女	63歳	二人一組で施設の寝具交換作業中、相手方が押したベッドでダンスとの間に手が挟まり負傷したもの(左手小指打撲)
3	令和4年 1月14日 (7時10分頃)	男	75歳	駐車場で駐車案内作業中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、右手首を打ったもの(右手首骨折)
4	令和4年 1月28日 (8時24分頃)	男	72歳	就業先へ向かうため、家を出たところ自宅車庫前の凍結した路面で足を滑らせ転倒し、膝を打ったもの(右膝半月板骨折)

(2) 賠償事故発生状況

件数	発生日時	性別	年齢	事故の状況及び結果
1	令和3年 4月12日 (11時00分頃)	男	75歳	2名で洋ダンスを運んでいる際、ダンスを落としてしまい床に傷をつけてしまったもの。
		男	71歳	

5 活動状況

期	日	活 動 状 況	
R3.	4. 1	「休憩室の開放」	於 労働福祉センター 利用者 15人
	〃	地区長・班長委嘱状交付式	於 〃
	8	新入会員説明会	於 〃 参加者 25人
	20	〃	於 〃 参加者 15人
	21	令和2年度 会計監査	於 〃
	22	第1回 理事会	於 〃 出席者 16人
5.	6	「休憩室の開放」及び健康測定	於 〃 利用者 6人
	27	令和3年度 定時総会	於 センター事務所 出席者 6人
6.	17	道シ連 臨時理事会	於 オンライン参加 理事長
	21	道シ連 刈払機取扱安全講習	於 労働福祉センター 参加者 6人
	22	第1回 安全・適正就業委員会 及び就業先パトロール	於 〃 出席者 6人
	23	道シ連 お仕事体験（公園管理）	於 錦大沼公園 参加者 2人
	25	〃 （施設管理）	於 高齢者福祉センター 参加者 2人
	29	道シ連 入会説明会	於 労働福祉センター 参加者 13人
	30	〃	於 〃 参加者 11人
7.	1	「休憩室の開放」及び健康測定	於 〃 利用者 9人
	6	除草就業体験講習	於 錦大沼公園 参加者 10人
	13	〃	於 拓勇公園 参加者 5人
	14	〃	於 日の出公園 参加者 5人
	19	第2回 理事会	於 労働福祉センター 出席者 15人
	20	新入会員説明会	於 〃 参加者 9人
	30	苫小牧市長にシルバー人材センターへの支援について要望	於 苫小牧市役所 理事長 副理事長2人 事務局長
	〃	第2回 安全・適正就業委員会 及び就業先パトロール	於 労働福祉センター 出席者 5人
8.	2	「休憩室の開放」	於 〃 利用者 7人
	5	苫小牧市議会議長にシルバー人材センターへの支援について要望	於 苫小牧市役所 理事長 事務局長
	17	新入会員説明会	於 労働福祉センター 参加者 6人
	27	除草就業体験講習	於 錦大沼公園 参加者 3人
10.	1	「休憩室の開放」	於 労働福祉センター 利用者 6人
	6	除草就業体験講習	於 錦大沼公園 参加者 4人
	7	清掃ボランティア	於 港公園周辺 参加者 37人
	〃	道シ連 第2回理事会	於 オンライン参加 理事長
	〃	臨時新入会員説明会	於 労働福祉センター 参加者 14人
	12	除草就業体験講習	於 拓勇公園 参加者 2人

期 日	活 動	状 況
R3. 10. 13	除草就業体験講習	於 日の出公園 参加者 3人
14	道 労働局及び道シ連による個別訪問指導	於 労働福祉センター
18	第1回 地区長会議	於 〃 出席者 10人
19	新入会員説明会	於 〃 参加者 4人
21	第3回 理事会	於 〃 出席者 16人
〃	道シ連 業務担当者研修会	於 オンライン参加 瀬高主任
26	派遣元責任者講習	於 札幌市 山村補佐
29	第3回 安全・適正就業委員会 及び就業先パトロール	於 労働福祉センター 出席者 5人
11. 1	「休憩室の開放」	於 〃 利用者 29人
2	臨時新入会員説明会	於 〃 参加者 1人
5	ハスカップ染め講習会	於 〃 参加者 11人
11	道シ連 安全就業推進員研修会	於 オンライン参加 山村補佐
16	新入会員説明会	於 労働福祉センター 参加者 7人
17	第1回 広報委員会	於 〃 出席者 6人
12. 1	「休憩室の開放」	於 〃 利用者 5人
3	臨時新入会員説明会	於 〃 参加者 3人
6	第2回 広報委員会	於 〃 出席者 6人
21	第3回 広報委員会	於 〃 出席者 6人
〃	新入会員説明会	於 〃 参加者 5人
22	江別市シルバー人材センター視察	於 江別市 山村補佐 瀬高主任
R4. 1. 4	「休憩室の開放」及び健康測定	於 労働福祉センター 利用者 31人
18	新入会員説明会	於 〃 参加者 12人
20	第4回 理事会	於 〃 出席者 15人
21	道シ連 刈払機取扱安全講習	於 〃 参加者 7人
27	自動車安全運転講習	於 中野自動車学校 参加者 8人
2. 9	道シ連 事務局長会議	於 オンライン参加 事務局長
3. 5	シニアライフセミナー及び入会説明会	於 高齢者福祉センター 参加者 6人
7		豊川コミセン
〃	出前入会説明会	於 のぞみコミセン 参加者 31人
10		住吉コミセン
11	派遣元責任者講習	於 オンライン参加 事務局長
17	新入会員説明会	於 労働福祉センター 参加者 16人
〃	道シ連 第3回理事会	於 オンライン参加 理事長
24	第2回 地区長会議	於 労働福祉センター 出席者 12人
25	刈払機取扱安全講習	於 〃 参加者 6人
28	第5回 理事会	於 〃 出席者 16人
30	第4回 安全・適正就業委員会	於 〃 出席者 6人